



都市農業の まちなみを良くするはたらき

農地の花や緑がうるおいやゆとりのあるまちなみをつくりだしてくれます

都市農地はまちなかに緑とゆとりのあるまちなみをつくりだしてくれます。
また、花が咲く作物などはまちなみをはなやかにしてくれます。



「農」の風景 景観写真コンテスト

東京都・町田市にある小田急線・鶴川駅周辺は、マンションやビルなどの高い建物が立ち並び開発が進んでいます。そこからわずか5分ほど離れた神蔵さんの畑からはマンションやビルだけでなく、その上に広がる青い空を見ることができます。この景色に足を止めて眺めていく人も多く、四季さまざまな空と畑の自然が作る景色を楽しむことができます。

第16回(平成24年度)東京「農」の風景・景観コンテスト実行委員長賞(JA東京中央会より)

屋敷林や区割りが昔の様子を伝え地域らしいまちなみをつくりだしてくれます

農家の屋敷やそれを囲む屋敷林が農地とともに残されている様子や、
農地の区割りがまちなみに残っている様子は、
まちに昔からの地域の個性を伝えてくれます。

かつての短冊型農地の面影をとどめるまちなみ

東京都小平市や国分寺市付近は、台地の上に位置し、もともとは水を得ることが難しい場所だったため、農業に向かず、あまり集落も見られない土地でした。しかし江戸時代に玉川上水が引かれると、用水路を引いて農業用水や生活用水を確保できるようになり、青梅街道や用水などに対して直角に、南北に細長い地割りで新田開発が行われました。市街地化が進む現在でも短冊状に農地が残り、まちの成り立ちを伝える地域特有の景観をつくり出しています。

(出典：小平市史別冊図録 近世の開発と村のくらし)

